

研究課題名	東京医科歯科大学および関連施設による脳神経血管内治療に関する登録研究
研究機関名	東京医科歯科大学脳神経外科 東京医科歯科大学血管内治療科 独立行政法人国立病院機構災害医療センター脳神経外科 武蔵野赤十字病院脳神経外科 総合病院土浦協同病院脳神経外科 青梅市立総合病院脳卒中センター 青梅市立総合病院脳神経外科 草加市立病院脳神経外科 東京都保健医療公社豊島病院 茨城県厚生農業協同組合連合会 J A とりで総合医療センター脳神経外科 国民健康保険富士吉田市立病院脳神経外科 秀和総合病院脳神経外科 東京ベイ・浦安市川医療センター脳神経外科 塩田記念病院脳神経外科 東京北医療センター脳神経外科 自治医科大学附属さいたま医療センター脳神経外科・脳血管内治療部 関東労災病院 脳神経外科
研究責任者	所属 脳神経外科 氏名 玉置正史、佐藤洋平
研究期間	(西暦) 2018 年 11 月 ~ 2019 年 3 月
研究の意義・目的	近年、脳神経外科疾患領域において脳神経血管内治療に占める割合は年々増加する傾向にあります。東京医科歯科大学およびその関連施設における血管内治療件数も約10年で3倍に増加しています。この対象疾患および対象患者の急激な増加に伴い、手術に使用する機器器材および技術革新の進化も非常に速く、論文などをもとにしたガイドラインも現状に追いついていない状況です。そのためより早く診療の現場に治療の成果、合併症をフィードバックして、より安全性の高い機器器材および最新技術を東京医科歯科大学およびその関連施設の血管内治療グループで共有していくことを目的とします。
研究の方法 (対象期間含む)	<p>【研究対象】 2000年1月1日以降、上記の研究機関にて脳および脊髄の血管性病変に対する治療を行なった患者さんを対象とします。 研究対象疾患は脳動脈瘤、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻（脊髄病変も含む）、頭頸部腫瘍、脊髄腫瘍、頭蓋内および頭蓋外血管狭窄、急性期脳梗塞、脳血管攣縮、その他（上記に含まれない脳血管内治療手技を必要とする疾患）とします。</p> <p>【研究の方法】 本研究では通常の臨床にて施行された診療データを解析するため、診療方法に関しての介入は一切行いません。 治療終了後の臨床情報（年齢・性別・身体測定値・既往歴・疾患名・疾患の詳細な情報・術式・手術記録・術者情報・手術に使用した器材・合併症・術前術後の状態・血液検査結果・画像検査情報（CT、MRI、脳血管撮影など）などを登録し症例数が集まった時点で解析いたします。そのため患者さんには、本研究のために追加で行う検査などはありません。また、研究成果は海外英文雑誌にて公表する予定です。</p>

<p>①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む)</p> <p>②利用し、又は提供す る試料・情報の項目</p> <p>③利用する者の範囲</p> <p>④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称</p>	<p>得られた診療情報は担当研究者が本研究に利用することのみを目的と します。研究成果は海外英文雑誌にて公表する予定です。公表する際 には個人が特定できないような形で診療情報を利用します。利用する情報 は、年齢・性別・身体測定値・既往歴・疾患名・疾患の詳細な情報・術 式・手術記録・術者情報・手術に使用した器材・合併症・術前術後の状 態・血液検査結果・画像検査情報 (CT、MRI、脳血管撮影など) など です。情報は、この研究固有の番号をつけて管理 (匿名化) しますので、 あなたがこの研究に参加していることや結果が第三者に知られることは ありません。当施設及び各共同研究施設で匿名化されたデータが、東京 医科歯科大学に送られ、保管されます。データ解析を行うに際し、匿名 化されて収集されたデータを当施設及び各共同研究施設に移動する場 合があります。本研究に係る情報は研究責任者が管理を行います。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 脳神経外科 氏名 佐藤洋平</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>